

## 菰野町・緊急雇用 現状報告

2011年9月1日



菰野町緊急雇用も残り2カ月余りになりました。現在延100人以上の方は参加され雇用された方とツツジ群落の保全に取り組んでいます。3回目の現状報告です。

御在所岳頂上のツツジ群落保全は、

- ① 被害木の皮剥ぎ防止ネット取り付け間もなく4000本(昨年は1700本)で終了予定です。
- ② 実生ツツジの保護及び竹ポットによる植替えは500本目標で進行中。実生苗は「まなびの森」でも育成中です。1000鉢程度は保存を希望しています。
- ③ 種子採取 頂上公園内(地番、一の谷及び藤内壁)三重県知事の許可を受けて採取を開始しました。鹿の皮剥ぎ被害は予想を超えたスピードで進んでいます。カモシカセンター跡地は6頭程度が生息中。



来年度は30%以上のツツジが枯れるかもしれません。今後、頂上公園の緑化事業を継続するためには種子採取を急いで進める必要があります。

頂上は、鈴鹿国定公園特別保護地区になっています。カモシカセンターやユースホステルの跡地を原状回復するためには固有種の育成が必要です。



- ④ 竹杭の作成 孟宗竹の下部分を利用しているため丈夫な杭に仕上がっています。当面は測量杭として活用します。昨年度作成の4色の杭は植樹地のレイアウトに使用しています。
- ⑤ 苗の移植ポットは、頂上での移植はそのまま現場で使用します。残りは次年度以降の頂上緑化及び“向井F1”及び“こもればの森”で200鉢は利用します。

緊急雇用は行政からの委託事業ですが会の活動の一環として進めています。

